

MAKING THE IMAGE INTELLIGENT



2024年3月期 第3四半期

# 決算補足説明資料

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2024年2月14日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

会社概要	3
DMPのPurpose	4
2024年3月期 第3四半期決算ハイライト	
業績ハイライト	5
損益計算書	6
事業別／分野別売上高	7
貸借対照表	8
2024年3月期 第3四半期トピックス	9
2024年3月期 通期業績予想	10

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 山本 達夫
資本金	1,838百万円
連結従業員数	65名 (2023年3月31日現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

<h3>IPコアライセンス事業</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>AI/GPU IPコアライセンス</li><li>AIソフトウェアライセンス</li></ul>	
<h3>製品事業</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>アミューズメント市場向け画像処理半導体</li><li>協働ロボット向けビジョンシステム</li><li>ドローン向けカメラモジュール</li></ul>	
<h3>プロフェッショナルサービス事業</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発</li><li>FPGA/ボード受託開発</li><li>セーフティシステム、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート</li></ul>	

## Making the Image Intelligent

### 画像を智能化する

"To create innovative products and services that harness the power of image intelligence to solve real-world problems and drive value for our stakeholders."

画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造する



- 第3四半期累計売上高は過去最高を更新  
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は黒字化、大幅増益
- 主にスマートパチスロを含むパチスロ市場の活況により、アミューズメント分野売上高が大幅伸長  
ロボティクス分野は製品売上が拡大、利益率の高いIPコアライセンス事業もGPU関連が好調

全社	事業別売上高	分野別売上高	
売上高	IPコアライセンス	セーフティ	ロボティクス
<b>2,292</b> 百万円 (YoY※ +45%)	<b>135</b> 百万円 (YoY △15%)	<b>41</b> 百万円 (YoY △65%)	<b>115</b> 百万円 (YoY +33%)
経常利益	製品	アミューズメント	その他
<b>264</b> 百万円 (YoY +322百万円)	<b>2,105</b> 百万円 (YoY +57%)	<b>2,018</b> 百万円 (YoY +56%)	<b>117</b> 百万円 (YoY +40%)
	プロフェッショナルサービス		
	<b>51</b> 百万円 (YoY △34%)		

※ YoY (Year on Year) : 前年同期比

## 主にアミューズメント分野、製品事業の伸長により大幅増収増益

(単位：百万円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減額
売上高	1,579	2,292	+712
営業利益	△60	261	+322
経常利益	△58	264	+322
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△60	221	+282

- アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」に加えて、Cambrianビジョンシステム等、製品事業の伸長により、売上高は45.1%増収
- 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も黒字化、大幅増益

## ● 事業別売上高

**IPコアライセンス事業**      **135百万円**    前年同期    158百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンス・サポート収入等を計上

**製品事業**      **2,105百万円**    前年同期    1,343百万円

- RS1の量産出荷、Cambrianビジョンシステム、量産ドローン向けカメラモジュール等の売上を計上

**プロフェッショナルサービス事業**      **51百万円**    前年同期    78百万円

- AI/GPU受託開発サービス収入を計上
- セーフティ、ロボティクス分野向けプロフェッショナルサービスは第4四半期にPoC※案件の売上計上予定

## ● 分野別売上高

**セーフティ分野**      **41百万円**    前年同期    117百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益（ランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー）、メンテナンスサポート収入、プロフェッショナルサービス売上を計上

**ロボティクス分野**      **115百万円**    前年同期    86百万円

- Cambrianビジョンシステム、量産ドローン向けカメラモジュール等の製品売上、プロフェッショナルサービス売上等を計上

**アミューズメント分野**      **2,018百万円**    前年同期    1,291百万円

- RS1の量産出荷売上を計上

**その他分野**      **117百万円**    前年同期    83百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、メンテナンスサポート収入等を計上

※PoC：Proof of Conceptの略。新しい概念や理論、原理を本格的に導入する前に行う実現可能性に関する検証・試行のこと

## 自己資本比率は85.9%と高水準を維持

(単位：百万円)		2023年 3月末	2023年 12月末	増減額	主な増減要因
	流動資産	3,683	3,391	△292	売掛金及び契約資産 △549, 現金及び預金 +173, 商品及び製品 +95
	固定資産	158	502	+344	投資有価証券 +370
<b>資産合計</b>		<b>3,842</b>	<b>3,893</b>	<b>+51</b>	
	流動負債	700	532	△167	買掛金 △204
	固定負債	17	18	+0	
<b>負債合計</b>		<b>717</b>	<b>550</b>	<b>△167</b>	
<b>純資産合計</b>		<b>3,124</b>	<b>3,343</b>	<b>+219</b>	利益剰余金 +221
<b>負債純資産合計</b>		<b>3,842</b>	<b>3,893</b>	<b>+51</b>	



## セーフティ

### 安全安心社会の実現

- ドライブレコーダー向けのエッジからクラウドに亘る既存プロジェクトからのリカーリング収益を獲得
- DMPの高いAI画像認識性能を活用した車のナンバープレート認識、人の属性・動線認識、人数カウント等により広範なセーフティ分野のPoCプロジェクトが進行中



## ロボティクス

### 製造業、運輸業等における省力化・省人化に貢献

- デモ機開発による自律走行ロボット向けの新規ライセンス獲得活動を推進、複数顧客に納入
- Cambrianビジョンシステムビジネスの拡大
  - ・自動車を中心とした製造業等の最終顧客の省人化や生産性向上に向け、インライン化も視野に製品納入や商談が進捗
  - ・透明・光沢パーツの認識性を強みに、花王のダイナミックセル生産システムに搭載されるなど、三品産業向けのビジネス活発化

## 画像の知能化 による社会・顧客課題の解決

## アミューズメント

### 美しい映像表現の実現と遊技機筐体コストの削減を両立

- 稼働が好調なスマートパチスロを含むパチスロやパチンコ向けに画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続
- 当社のユニークな2D・3D統合チップの優位性を発揮できる市場セグメントにおけるシェア拡大、新規顧客参入を目指す



## AI/GPU IP

### 顧客SoCに最適な小サイズ、低消費電力、高性能なIPの提供

- 既存IP/顧客からの安定的なランニングロイヤリティ獲得、新規案件の商談進捗
- 現行製品の性能を大きく上回るAI IPプロセッサ「ZIA A3000」のライセンス獲得活動推進中

## 11月13日に上方修正した通期業績予想を現段階では据え置く 今後の業績見通しを精査中、業績予想修正の必要性が生じた場合は速やかに公表予定

(単位：百万円)	2023年3月期 通期実績	2024年3月期		
		第3四半期実績	進捗率	通期業績予想
売上高	2,232	2,292	78%	<b>2,950</b>
営業利益	27	261	109%	<b>240</b>
経常利益	28	264	110%	<b>240</b>
親会社株主に帰属 する当期純利益	22	222	111%	<b>200</b>

- 第3四半期累計は、主に製品事業、アミューズメント分野の活況により、売上高は過去最高を更新  
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は通期業績予想を上回る
- 第4四半期は、アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、セーフティ分野におけるライセンス収入やプロフェッショナルサービス収入、ロボティクス分野における製品売上やプロフェッショナルサービス収入、およびGPU関連の堅調なライセンス収入を見込む

<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。